

**首都圏の大学生がいわきの「今」を見学！〔第1回:10月14日(土)・第2回:21日(土)〕**

いわき農林事務所主催の「いわきの今を見に行く！モニターバスツアー」を実施しました。このバスツアーは首都圏の大学生を対象とし、福島県の農林水産物の安全・安心の取組や復興状況等を直に見て体感してもらうことを目的としており、今年で5年目になります。

各回とも35名、計70名の首都圏10大学の学生等が参加したほか、第1回にはいわき明星大学から2名参加し、参加者たちはいわき各地を見学しながら交流を深めました。

さらに、今回の体験を家族や友人に伝えたり、SNSで共有したりと情報発信をしてもらうことによって、福島の魅力や農林水産物の安全性などの情報が広がるのが期待されます。(企画部)

**バスツアー見学ルート**

**① ワンダーファーム (四倉町)**

施設概要・GAP等説明/選果場見学/トマトの摘み取り体験/昼食「森のキッチン」ピュッフェ



(トマト摘み取り体験)

**② JA福島さくら 第6営農経済センター (渡辺町)**  
米の全量全袋検査見学



(ベルトコンベア式検査機器の見学)

**③ アクアマリンふくしま いわき・ら・ら・ミュウ (小名浜)**  
講義 (アクアマリンの復興・水産物のモニタリング検査・海岸沿いの復興について)



(アクアマリンふくしまにて、建設事務所遠藤課長による海岸復興の説明)

**④ いわき沿岸の復興状況見学 (岩間町)**

復興状況見学

### ① ワンダーファーム



元木社長（左）による説明



新鮮野菜豊富なビュッフェ

### ② JA福島さくら第六営農経済センター



高萩係長（右）による現地説明

### ③ アクアマリンふくしま、いわき・ら・ら・ミュウ



水口観光交流チームリーダー（左）、富原環境研究所チームリーダー（右）による説明



「潮目」の海を表す  
三角形のトンネルが見所の一つ

### ④ いわき沿岸の復興状況見学



岩間地区の復旧状況  
海岸堤防内側に防災緑地の工事中  
（左上は常磐共同火力発電所）

#### 参加した大学生の主な感想

- 様々な分野のいわきの方の思いを聞き、「もっと知りたい」と思うきっかけとなった。
- 厳密な検査をしているので、福島を食べ物はかなり安全度が高いということが分かった。
- 初めて福島に来てみて、風評被害でいかに不安があおられているかを思い知った。
- 復興に向けて取り組んでいる姿に感動した。福島県の方は皆温かくて、非常に良い場所だと思った。
- テレビでは伝わらない福島のパワーを感じた。
- 私たちも福島の農林水産物の安全さを発信する必要があると思った。
- 「買う」「伝える」ことで自分も福島復興の力になりたい。
- 実際に見て、食べて、話を聞くことで、福島の安全性を感じるだけでなく、福島がとても好きになった。